

資本論と労働運動教室

東京学習会議主催
東京労働学校
第129期



講師 江口 健志 (東京労働学校講師、東京学習会議常任理事)

「格差・貧困」を生み出す新自由主義とバブル経済に依存する現代資本主義は、深刻な行き詰まりを見せています。同時に、社会的危機はそれを乗り越える実践的課題を提起しています。

この教室では、現代資本主義分析の指針としての資本論を労働運動論との関連で読み解き、社会変革の展望と労働運動の課題について考えます。『資本論』を読んだことのない人も歓迎します。

日程 11月7日～12月5日【毎週土曜日】 午後1時～5時

会場 全労連会館3階

会費 全5回で10,000円 (聴講は1回2,500円)

▶ CD受講: 12,000円 (①音声CD: CDプレーヤー再生、②データCD: パソコン再生)

▶ ネット受講: 10,000円 ※音声ファイルのダウンロード

----- 切り取り -----

15年 東京労働学校 第129期 資本論と労働運動教室 受講申込書 月 日

氏名			男・女	年齢	才
住所	〒				
電話	自宅:			携帯:	
E-mai					
受講方法 (○で囲む)	①教室受講	②CD受講 (音声CD or データCD)	③ネット受講		
労組・団体名:	会費受領日		月	日	受領者名

11月

第1回
7日 (土)
資本主義的市場経済と労働運動
構造改革の吹き荒れる現代、市場経済を根本からとらえ返す。さらに資本の価値増殖の秘密を解き明かし、労働を基礎とした社会把握、労働運動における労働論のもつ意義についても考察する。

第2回
14日 (土)
企業支配分析の基礎理論と主体形成の可能性
長時間過密労働や「合理化」など資本による労働者支配のしくみを、資本主義的生産過程の基礎から解き明かす。同時に、労働者の階級としての発展、変革主体形成の過程、労働運動による規制の可能性も考える。

第3回
21日 (土)
現代の貧困化と労働運動
失業・半失業を組み込んだ資本の蓄積運動と労働者統合のしくみとともに、「反貧困の労働運動」の可能性を検討する。さらに労働の社会化による社会変革の物質的・主体的条件の形成について考える。

第4回
28日 (土)
恐慌論の基礎と変革論の課題
信用メカニズムを中心に恐慌の基礎理論を考察し、現代の金融危機への基本視角を検討する。さらに株式会社の歴史的意義について、労働運動の課題との関連で考える。

12月

第5回
5日 (土)
現代資本主義論と変革の展望
第二次世界大戦後、国家介入を恒常化させ、飛躍的な高度経済成長を成し遂げた現代資本主義。74-5年不況を画期として、現代資本主義は「新自由主義とバブル経済依存」という新たな段階に突入するが、2000年代以降、深刻な「行き詰まり」に直面している。「資本主義の限界」と民主的計画的コントロールの課題、労働運動の役割について考える。

◎受講のお申し込みは、申込書にご記入のうえ、東京学習会議までFAXしてください。メールでのお申し込みも受け付けます。

◎団体としてお申し込みの場合は、「氏名」欄に団体名をご記入ください。

【申込み・問い合わせ】

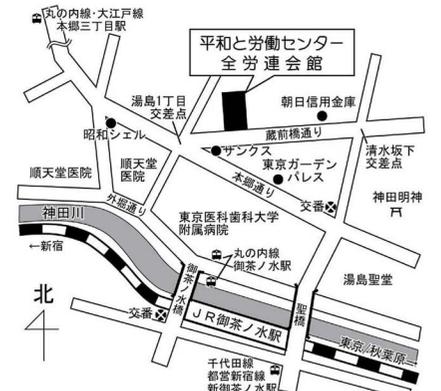
東京学習会議

TEL: 03-5842-5646

FAX: 03-5842-5647

E-mail: gakusyukaigi@gmail.com

http://www.gakusyukaigi.org



現代社会講座

講師 後藤 道夫 都留文科大学名誉教授
東京学習会議副会長

これほのどひどい社会とひどい政権はどのように作られたのか。安倍政権はなぜ、<戦争国家づくり>と<新自由主義改革>を同時に追求するのか。それを支える勢力は何か。なぜ、日本政府はアメリカにこれほど従属的なのか。私たちは、どのような社会を目指してこれらと闘うべきなのか。——多国籍企業が支配的となった<現代帝国主義>のしくみを軸に考える。



日程 11月10日～12月1日【毎週火曜日】 午後7時～9時

会場 全労連会館3階

会費 全4回で5,000円（聴講は1回1,500円）

▶CD受講：6,000円（①音声CD：CDプレーヤー再生、②データCD：パソコン再生）

▶ネット受講：5,000円 ※音声ファイルのダウンロード

----- 切り取り -----

2015年 東京労働学校 第129期 現代社会講座 受講申込書 月 日

氏名		男・女	年齢	才
住所	〒			
電話	自宅：	携帯：		
E-mai				
受講方法 (○で囲む)	①教室受講	②CD受講（音声CD or データCD）	③ネット受講	
労組・団体名：	会費受領日 月 日 / 受領者名			

11月

第1回

10日
(火)

安保法制と現代帝国主義

なぜ、安倍政権は<戦争国家づくり>に突き進むのか。自衛隊を外征軍化する内外の圧力の元は何か。そもそも、資本主義国はなぜ「普通に」軍隊をもつのか。<現代帝国主義>の視点から考える。

第2回

17日
(火)

急進化する新自由主義改革

<戦争国家づくり>と<新自由主義改革>が同時に行われるのはなぜか。長期不況の原因は、新自由主義改革の「不足」なのか「過剰」なのか。そもそも新自由主義改革とは何なのか。経済グローバリズムの深化による、大衆社会統合の縮小をつかむ。

第3回

24日
(火)

「日本型雇用」の解体・縮小と資本独裁

日本だけが長期の賃金低下を続けたのはなぜか。「自己責任」と貧困への抵抗がこれほど弱いのはなぜか。先進国でもっとも激しい男女差別はなぜ定着しているのか。日本型雇用と労働運動の長期停滞を対象化する。

12月

第4回

1日
(火)

あるべき社会を考える

「失業の権利」が保障されることで低い労働条件が排除され、高い労働技能を目指せる社会。非勤労者が家族責任ではなく公的保障で暮らせる社会。グローバル市場の暴威と闘う社会。……。新たな福祉国家型社会の原則と規範を考える。

- ◎受講のお申し込みは、申込書にご記入のうえ、東京学習会議までFAXしてください。メールでのお申し込みも受け付けます。
- ◎団体としてお申し込みの場合は、「氏名」欄に団体名をご記入ください。

【申込み・問合わせ】

東京学習会議

TEL：03-5842-5646

FAX：03-5842-5647

E-mail：gakusyukaigi@gmail.com

http://www.gakusyukaigi.org

